



会の目的

本会は産業界、教育界および行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公私立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校等の産業教育の改善・進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

ものづくり産業を担う

人材の育成

東京都教育庁都立学校教育部 副参事

ものづくり教育推進担当 山川 富也



米国の金融危機に端を発する世界同時不況で、輸出産業を支えるものづくり企業は大きな打撃を受けています。このような時こそハイブリッド車に代表される環境対応技術など付加価値の高い製品開発力が求められており、そのためにはものづくり企業を支える優秀な人材の育成が不可欠です。

東京都教育委員会は、平成9年から生徒の多様化等に対応し、都民にとって魅力ある学校づくりを進めてきました。その後、経済・社会のグローバル化、情報技術革新等の進展など都立高校を取り巻く環境は大きく変化してきたことから、平成14年には①日本の未来を担う人間を育成する教育の推進、②生徒の多様な希望に応える学校づくり、③都民に信頼される学校経営の確立、④地域とのパートナーシップを築く学校づくり、⑤少子化時代の質の高い教育の場の確保を新たな実施計画として都立高校改革を推進してきました。

とりわけ専門高校においては、科学技術の進歩や産業構造の変化等を受け、職業人として必要とされる専門的な知識、技術・技能が高度化し、より高度な専門教育が求められてきました。また、消極的理由で入学してくる生徒もいる一方、さらに高度な専門知識、技術・技能の習得のため大学等を目指す生徒が増加し、進学希望にも応じていく必要があります。

専門高校のうち工業高校の個性化・特色化に向け

た取組として、長期間の実習や学校での学習を並行して行う「東京版デュアルシステムの導入」、生産から流通・消費の過程における関連性を総合的に学ぶ「産業高校」、理工系の大学等に進学して将来のスペシャリストを目指す「科学技術高校」等、新たなタイプの学校を設置してきました。

また本年6月に、ものづくり教育に関する事業を円滑に推進し、産業界の求める多様な人材を安定的に輩出するため、産業界・行政・学校で構成する「ものづくり教育推進会議」を設置しました。

この会議では「産業界が求める人材育成」としてデュアルシステムの拡大、インターンシップの拡充、生徒の資格取得に向けた支援、工業高校から高専への編入の拡大、大学及び大学院への進学ルートの確保、「ものづくり人材の開拓に向けた取組」として工業高校・高専と小中学校との連携の強化、工業高校・高専に関するPR活動の強化等について具体的に協議していきます。

日本経済が元気になるには、製造業の活性化が不可欠であり、経済大国日本が国際競争力で優位に立つためには、ものづくり人材の育成が喫緊の国家的課題となっています。地域の産業・社会の人材育成と結び付きの強い専門高校の活性化は、地域社会の活性化にも繋がることから、専門高校を魅力あるものとし、産業界が求める人材の育成に取り組んでいきます。

平成21年度 総会報告

平成21年度総会及び講演会が6月9日(火)午後1時30分から、BIZ新宿(新宿区立産業会館)・多目的ホールにおいて開催されました。来賓として(財)産業教育振興中央会専務理事の中山淑廣様、東京都公立高等学校長協会副会長の木暮守雄様(都立足立工業高等学校長)、東京都中学校長会副会長の牛島正廣様(目黒区立東山中学校長)をお迎えしました。

開会にあたり、西澤会長から次のような挨拶がありました。「教育問題は多々ありますが、職業に対するものの見方や職業観と申しますか、子供の頃から育成されていくという社会風土が、今の日本では薄くなっていることが大きな根本問題ではないかと思えます。

世界全体が大不況の中、ものを作る力、開発する力、ものをきちっと売っていくマーケティング等、各現場の地道なフォアマンたちの力が発揮されるという体制が、今、大切なのではないかと。

そういう意味で、職業コースの内容を更に充実することは大事なことで、同時に高校の普通(科)ではなくて、各々の専門コース或いは職業学校へ進んでいく選択が、誇りを持って行われる教育体制・体質も日本全体で作っていかねばならないと思えます。皆様のお力添えをいただきながら、都産振も微力を尽くしながら頑張っていきたいと思えます。」

引き続き、常任理事の森口純都立学校教育部長から産業教育に関し、次のような挨拶がありました。

「都立高校改革推進の一つとして、4月に大田桜台高校というビジネスコミュニケーション科を設置した2校目の“進学型専門高校”を開校しています。平成22年度には、2校目の科学技術高校を小金井地区に開校予定です。特徴は、先端的な科学技術を学ぶということで理工系や薬学に進むのですが、大学、企業からのアドバイザー制度などを設け、最先端技術を身に付けていこうというコンセプトになっています。

今年度、新たに『ものづくり教育推進会議』を設置し、その中でこれまでの成果などを検証し産業界との連携等を具体的に検討したいと思えます。本日の総会でこれからの産業教育の振興と充実、発展といった点でご指導を賜れば幸いです。」

5月22日の理事会において選任された平成21年度



平成21年度東京都産業教育振興会 総会

の会長、副会長の選任結果と理事長、常任理事、常任監事について、以下のような報告がありました。

会長 西澤 宏繁

(株)東京都民銀行相談役

副会長 久保村昭衛

TDOグラフィックス(株)CEO

同 金子 昌男

(株)カナック企画相談役

同 本多 吉則

東京都立芝商業高等学校長

理事長 大原 正行

東京都教育委員会教育長

常任理事 森口 純

東京都教育庁都立学校教育部長

同 加藤 裕之

都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長

常任監事 鈴木 信孝

都教育庁都立学校教育部高等学校教育課管理係長

次に、以下の議案が提案され、審議の結果、各議案とも原案どおり承認されました。

○ 第1号議案①平成20年度事業報告(案)

○ 第1号議案②平成20年度決算書(案)

○ 第1号議案③平成20年度監査報告

○ 第2号議案 平成21年度役員選任(案)

○ 第3号議案①平成21年度事業計画(案)

○ 第3号議案②平成21年度予算(案)

引き続き、産業界会員功労者(永年会員)の表彰が行われ、西澤会長から各社の代表に感謝状と記念品が手渡されました。

「産業社会と人間」の魅力

東京都立晴海総合高等学校

副校長 永森比人美



1. はじめに

本校は平成8年に東京都で初めて設立された総合学科高校です。普通科目、専門科目や学校設定科目の中から生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望に応じて選択履修できるカリキュラムを備えています。開校当初から「自分の将来を自ら積極的に築いていこうとする意欲を喚起するキャリア教育」に重点を置いてきました。教育目標に、創造性や国際性に富む感性豊かな人間の育成を掲げ、既に2,574名の卒業生が様々な分野で活躍しています。

2. 「産業社会と人間」の授業の魅力

総合学科高校の教育の根幹は「産業社会と人間」の授業にあると言っても過言ではありません。単なる知識や技能の習得だけでなく、それらを活用して自ら主体的に判断し行動するために必要な資質や能力などを総合的に身に付けることが求められています。「産業社会と人間」の授業のねらいは、まさにこの学力観に基づいています。

(1) 「産業社会と人間」のねらいと年間授業内容

授業のねらいは、様々な体験的・実践的な学習活動を通して自己のあり方生き方について認識を深め、自己教育力や自らの人生を切り拓いていく実践的な力を培うことです。1年で2単位、以下の内容で授業を展開しています。

4月－他者との交流を通して自己理解を深める。

5月－職業理解を深めるため、職業情報を収集し、興味ある職業について探索する。

6月－産業社会と経済の変化というメインテーマにサブテーマを設け、班別に調査、まとめ、発表を行なう。

7月－夏期休業の宿題「学問について調べよう」について事前指導を行ない、学びたいことを探索する。

9月－系列への招待と題して系列の概要説明会を実施、2年次からの系列・科目選択を円滑に行なえるように促す。

10月－将来を見通して、系列・科目選択を行う。

学ぶことの意義を理解したり、上級学校理解を深めたりする。

11月－職業に関する講演や、職場を訪問し働いている人からの話を聴き、働くことについて考える。また、自分史の作成や10年後の未来社会を予測するなど、過去から未来へ向けて自分の人生を考える。

12月－ライフプラン発表会に向けて準備をする。

1月－クラス内で生徒一人一人が「自分の夢」についてスピーチを行なう。

2月－各クラスから2名ずつ代表者を選び学年全員の前でライフプランを披露する。

(2) 「産業社会と人間」の成果と課題

生徒は、他者との違いを認識することで自分のよさに気づき、他者への共感や思いやりをもつことができます。また、調べ学習、職場訪問などの体験を通して変化の激しい社会について理解を深められ、自分の生き方を考え、ライフプランの発表を通して自己有用感を得ることができます。生徒一人一人が自らのキャリアを切り拓いてゆくための行動力や解決力を引き出すため、教員は個への対応が欠かせません。毎週、キャリアカウンセラーを中心に研修を重ねています。担当者の負担感はありませんが、生徒の成長を目の当たりにした時、この負担感は消え去り喜びに変わると言っています。

平成21年5月21日 文部科学省 中央教育審議会
キャリア教育・職業教育特別部会視察の風景

班別学習の様子



キャリアカウンセラー 千葉教諭



即戦力を身につけた人材の育成

～人づくり夢づくりの商業高校「五商」のとりくみ～

東京都立第五商業高等学校

主幹教諭

野 路 強



1. はじめに

本校では、資格取得で自信を高めさせ、地域との連携による活動を通し、地域の方々のお力をおかりしながら、社会人としての感性を磨き、生徒の実践的な能力と有用感を高める学校を目指しています。

ここでは、商業高校の強みとも言える資格取得と地域と連携した取組みについて述べていきます。

2. 資格取得に向けた取り組み

本校では、開講しているほとんどの商業科目で、多彩な資格取得に向けた取組を行い、成果をあげています。特に最近では、基礎を身に付ける第1学年で、簿記検定3級、情報処理検定3級にほぼ全員が合格しています。19年度から本格的に取り組みを始めた商業経済検定3級も、平成19年度に147名、平成20年度は169名が合格しており成果をあげています。

2学年以降は、検定取得に向けた意欲はますます高まります。平成19年度では、何らかの1級に合格した者が全校で99名おり、卒業後4年で公認会計士試験に合格した者も出ました。簿記の習熟度別授業や補習・講習での取組のほか、専門学校との連携での講習も行い、成果をあげています。

これ以外にも社会人となって、すぐに役立つ資格取得にも力を入れています。日商簿記検定、P検、MCAS、販売士、秘書などの資格取得に向け、選択科目や課題研究の授業を通して、生徒は意欲的に取り組んでいます。

3. 地域と連携した五商ショップの展開

五商ショップは、地元の谷保駅前富士見台名店街において主に農業系高校より仕入れる草花や野菜を五商生が販売するチャレンジショップです。今年で5年目を迎えました。参加しているのは、課題研究「起業家チャレンジ」でマーケティングや起業家精神など起業家になるための学習をしている生徒です。

五商ショップが始まるきっかけは二つありました。一つ目は、「東京都実業意欲向上プログラム」です。専門高校において生産した物を販売するという経験を通して「働くこと」の意義や意欲を高めていこうというものです。農芸高校や農業高校、瑞穂農芸高校の三校と連携をし、五商ショップのメイン商品である草花や野菜などを提供していただくことはもとより、野菜の収穫や畜産実習、また他校の課題研究発表会への参加など様々な体験型授業を行うことができます。二つ目は「商人インターンシップ」です。東京都産業労働局と商店街のご協力をいただき、商店街で就業体験を実施するというものです。仲介役として多摩中小企業振興センターの方にお世話になっています。起業家講演、POPやラッピング講習、ビジネスマナー講習など多くのご協力いただいています。

これらの体験型学習により、ビジネスについて総合的な学習ができます。マーケティングなど教室で学習したことも確認できます。失敗を改善して次へ挑む中で知識や技術を向上させ、自己学習能力を育成することもできるのです。

4. おわりに

この他にも、本校では国際ロータリークラブと連携したインターンシップを2学年全員が三日間実施しています。地域の60を超える企業の方々にお世話になっています。

資格取得に励み、地域とのパートナーシップをもって、実践的な学習を重ねることで、人間性に磨きをかけ、卒業と同時に、立派な社会人として活躍する人材を育成していく、このことこそ、多摩地区唯一の商業高校「五商」の使命であると受けとめ、今後も教職員と生徒が一体となって、取組を推進していきます。

株式会社東京都民銀行

資本金：481億2,000万円 取締役頭取：小林 功
東京都港区六本木2-3-11
TEL 03-3492-1776

＜創業＞

昭和26年、朝鮮動乱後の反動不況期に中小企業金融という重要な使命を担うために、東京都、経済界、都内の産業界など各方面から多くの期待と支援を受けて、東京においてなくてはならない地方銀行として設立され、『中小企業と個人のための銀行』として営業を開始しました。現在でも、この創業理念は変わらず生き続けています。

＜従業員数、営業拠点＞

1,764名、国内77

＜事業内容＞

昭和26年の創立以来、金融サービスを通じ、地元東京と中小企業の発展、個人の豊かなライフステージの実現のために、東京の頑張る人を応援している地方銀行です。お客様のニーズに合わせて各種預金商品、融資商品の提供、近隣地銀の横浜銀行、千葉銀行やセブン銀行等と提携し、首都圏約7,000ヶ所のATMで平日日中に手数料無料でお引き出しできるネットワークの充実を図っています。給料日前に働

いた範囲内で給料を受け取れるサービス「前給」(特許取得済)の取扱、事業承継やM&Aのご相談、中国ビジネス支援等様々な金融ビジネス展開を行っています。

＜経営理念＞

首都圏における中小企業の発展と個人のしあわせのために、企業市民として金融サービスを通じて、社会に貢献する。

＜青年へのメッセージ＞

銀行業は、公共性が高く、お客様との信頼関係を築くことが仕事の基本です。社会がグローバル化し規制緩和等により、銀行の仕事の領域も広がっています。このような時代に金融の分野で活躍するためには、幅広い知識と柔軟な発想が必要とされます。また、サービス業としてのホスピタリティも大切です。



株式会社ソフマップ

資本金：22億9,166万円 東証二部(株式コード：2690)
代表取締役社長：野口 進
東京都千代田区外神田1-16-9
TEL 03-3251-3000

＜創業＞ 1982年4月(昭和57年4月)

＜従業員数＞ 811名

＜営業拠点＞

関東地区25店舗(秋葉原地区12店舗、新宿地区4店舗、立川、柏、横須賀、川口駅前、大宮、横浜、町田、川越)、甲信越地区1店舗(新潟)、北海道地区1店舗(札幌)、関西地区8店舗(日本橋地区2店舗、梅田店、四条河原町店、神戸、京都、なんば(ザウルス1・2)、天王寺)、中京地区2店舗(名古屋駅ナカ、ナディアパーク)、中国地区2店舗(岡山駅前、広島)

＜経営理念＞

会社は社員と株主、社会に対し夢を与え続けなければ存在価値はない。やる気こそ企業発展の動力であり、

実績に対し適切な利益配分がなされなくてはならない。

＜事業理念＞

よい品を世界から
親切・丁寧にどこよりも安く提供いたします。

＜主要業務＞

デジタルグッズの専門小売業

＜青年へのメッセージ＞

創業以来、パソコンを中心とした新品・中古のデジタル機器の販売に取り組んで参りました。今後は「デジタルネットワークの楽しさと安心を提供する専門店として、ITタウンにおけるリーディングカンパニーを目指す」「売るなら・買うなら・ワクワクするならソフマップ」の2つのビジョンを掲げています。

専修学校に学んで ～在校生からのメッセージ～

東京工学院専門学校

メディア文学科 4年

神保みのり

皆さん夢はありますか？私の夢は、誰かの人生に影響を与える映像をつくることです。

私はもともと映画が好きで、今でも年に100本近くの映画を見ているくらい「見る」ことが好きだったのですが、いつしか「つくる」側に興味を覚えていきました。

映像作りの勉強がしたい！それなら専門学校がいいだろう。でも映像だけに限定するのちょっと不安。デザインにも興味があるし、本当は文学にも興味がある…。そんな欲張りな私の希望を叶えてくれたのが、東京工学院専門学校のメディア文学科でした。

それまで映像を作ったことも、パソコンのデザインソフトを触ったこともなかった私は、入学当初先輩方の作品を見たとき不安でいっぱいになりました。「何にもできないのに！」でもそのできない技術を教えてくれるのが専門学校です。私の在籍しているメディア文学科は、「メディア」と「文学」の学科です。雑誌等の紙媒体から映像媒体まで広くメディアの勉強、そして東洋大学との併修で文学の勉強と、本当に幅広いことを学びます。科目は多岐にわたり、当然大変です。ですがこの幅広い経験が、自分の中の「厚み」になっ

ていると思います。

夢を追っていくのは大変なことです。どんなに強い思いがあっても一度は悩むことがあると思います。そんな時、横を向くと同じ夢に向かって頑張っている仲間がいる。専門学校ならではのこの環境が、良い刺激と心の支えになっています。

どんなことであっても、やりたいことを叶える環境は欲しがれば手に入ります。自分の夢にわがままに、貪欲になってください。そうして吸収した分だけ、夢に近づいていけると 생각합니다。



二葉栄養専門学校

管理栄養士学科 4年

和田敦志

私は、家族にいつまでも健康でいてもらいたいと、日頃より想いを抱いておりましたが、家族が突然入院し、食べ物喉を通らない姿を目の当たりにしてから、「食」という観点から家族を支えていかなければならないと強く思うようになりました。そこで心身共に病む人のために貢献できる職業である管理栄養士になりたいと心に決め、本校への進学を希望しました。

本校の授業では、管理栄養士としての基本的な知識を学ぶことから、調理専任の先生方から学ぶ調理実習などの充実した内容に加えて、様々な職場に対応している学外実習も体験することができました。また、体育祭や文化祭など横の関係だけではなく、縦の関係も重視している学校の雰囲気がとても気に入っています。4年目の現在、熱意あふれる先生方のご指導の下、管理栄養士国家試験合格を目指して学年全体で日々勉強に励んでいます。

私たちが「食べる」ということは「生きる」ということと密接な関係があり、管理栄養士という職業はその手助けが出来る唯一の職業だと思います。将

来は人との関係を大切に、「食べる」ことに喜びを感じてもらえるような管理栄養士になりたいです。

将来に向けて夢を見出すことは決して簡単なことではないと思いますが、何かをきっかけにふと出会えたものが夢に繋がることも珍しくありません。皆さんも好きなことがあれば、それを職業に活かせることはとても素敵なことだと思います。まずは、自分自身と向き合い、やりたいことを焦らず見つけてみて下さい。これだという道に出会うまでは色々な経験を積んでいき、なにより誰にも負けなような強い想いを胸に頑張ってください。



平成21年度 新会員校の紹介

都立大田桜台高等学校

〒107-0062 東京都港区南青山2-33-77
TEL 03-3402-7980 FAX 03-3402-7981
東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営大江戸線「青山一丁目」駅より徒歩7分
銀座線「外苑前」駅より徒歩7分、千代田線「乃木坂」駅より徒歩10分

本校は今年度開校した唯一の都立高校であり、都内で2校目のビジネスコミュニケーション科の進学型専門高校です。

【本校の教育】

①英語教育－本当に英語を使える人を育てます。

英語の単位数は最低でも20単位と普通高校以上。英語多読や英語による自己表現を通じて本当に使える英語を身につけてもらいます。

アメリカンキャンプ

国内の宿泊施設に2泊3日泊まり込み、英語だけの生活をします。リーダーはアメリカ人の高校生や大学生。英語活動の他にアメリカンカーニバル等の楽しい異文化交流もあります。

②国語教育－基礎力の充実・受験実践力の養成

国語がすべての教科の土台と考え、2年次より現代文・古典ともに少人数制の授業によるきめ細かい指導を徹底します。

③ビジネス教育－キャリア教育と資格取得

「キャリアデザイン」「東京の経済」など本校独自の

科目で3年間継続してキャリア教育を行います。また資格取得のためのサポートも万全です。

【部活動】

<運動部>男女テニス部、野球部(軟式)、サッカー・フットサル部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、バドミントン部、卓球部、ダンス部

<文化部>写真部、華道部、茶道部、PC・資格・検定部、伝統文化部、軽音楽部、漫画・アニメ部、美術部、吹奏楽部



都立立川国際中等教育学校

〒190-0012 東京都立川市曙町3-29-37
TEL 042-529-5335 FAX 042-527-1829
JR線「立川」、多摩モノレール「立川北」より徒歩18分

平成20年4月、多摩地区初の中等教育学校として開校しました。本校は都立中高一貫教育校の中にあって、唯一の「国際中等教育学校」というユニークな特長もっています。

一般枠で入学した生徒と海外帰国生徒・在京外国人生徒が6年間ともに学ぶ中で、互いに異なる文化を理解し、積極的にコミュニケーションを図る態度を育てます。

そして、将来国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶することを教育目標としています。

英語の授業では少人数指導を展開し、外国人英語教育補助員(ALT)を活用した授業を積極的に行っています。

英語に関する特色ある授業として、実技を中心とする教科で英語による授業を年間保健体育で6回、音楽で2回実施しています。ネイティブの先生と英会話を

しながら体を動かすことで、状況に応じた聞き取りや会話の能力が向上し、自然に英語を身に付けることができます。

また、国際理解のための土曜講座を実施し、国際協

力で活躍した人や日本に留学している高校生・大学生との交流を進めるなど、実践的・体験的な教育を行っています。



英語による実技教科指導

新会員 紹介

○都立大田桜台高等学校 校長 長船 孝明
〒107-0062 港区南青山2-33-77
TEL 03-3402-7980 FAX 03-3402-7981

○マリールイズ美容専門学校 校長 江原 美規子
〒160-0018 新宿区須賀町3
TEL 03-3357-6621 FAX 03-3341-6318

○株鈴木塗装工務店 代表取締役 鈴木 守
〒120-0022 足立区柳原2-30-14
TEL 03-3882-2828 FAX 03-3879-0420

「第19回 全国産業教育フェア神奈川大会」のお知らせ － 専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典－

- 期 日 : 平成21年11月14日(土)～15日(日)
○会 場 : パシフィコ横浜・横浜文化体育館・横浜港・日産横浜自動車大学校他
○開催内容: 作品展示、意見・体験発表、討論会、作品・研究発表、フラワーアレンジメントコンテスト、全国高等学校ロボット競技大会、高校生ものづくりコンテスト全国大会、高校生ロボット相撲全国大会、中学生ロボット大会、展示即売等

「作文コンクール」作文募集中

- 作文の内容: 各専門学科等における産業教育に関する学習を通して体験したこと、勤労に関わる体験的な学習によって学び得た人生観、職業観等、自己の将来に対する考え方や心構え等について述べたもの。
応募方法 : 400字詰め原稿用紙(A4判)を使用し、4～6枚、縦書き。
パソコン入力可(20字×20行)。
応募期限 : 平成21年9月18日(金) 詳細については、「募集要項」をご覧ください。

平成21年度「わくわく どきどき 夏休みワークショップ」のご案内

小・中学生にもものづくりの面白さや達成感を体験してもらい、将来のものづくり産業を支える人材を早期から目指してもらうことをねらいとして今年も実施されます。

- 対 象: 小学生低学年、小学生中学年、小学生高学年、中学生
○主 催: 教育庁指導部高等学校教育指導課

	会 場 校	問い合わせ	開 催 日	参加費用
1	都立葛西工業高校	03-3653-4111	8/6、7	1,000円 2,000円 2,500円
2	都立科学技術高校	03-5609-0227	8/27	2,500円
3	都立墨田工業高校	03-3631-4928	8/7	2,000円
4	都立足立工業高校	03-3899-1196	8/10、11	2,000円 2,500円
5	都立荒川工業高校	03-3802-1178	8/7	2,000円
6	都立工芸高校	03-3814-8755	7/23、24、29、30、8/6、7、12～14、24～28	1,000円 2,000円 2,500円
7	都立六郷工科高校	03-3737-6565	8/28	1,000円 2,000円
8	都立北豊島工業高校	03-3963-4331	7/27、28、8/22、23	1,000円 2,000円 2,500円
9	都立練馬工業高校	03-3932-9251	7/31	2,000円
10	都立小金井工業高校	042-381-4141	8/1、2	1,000円 2,000円 2,500円
11	都立田無工業高校	042-464-2225	7/30、31	1,000円 2,000円 2,500円
12	都立多摩工業高校	042-551-3435	8/19	2,000円
13	都立総合工科高校	03-3483-0204	8/18～20	1,000円 2,000円 2,500円

※詳しい内容については、各高校もしくは教育庁指導部高等学校教育指導課にお問い合わせください。
(TEL03-5320-6845)

東京都産業教育振興会 ホームページアドレス <http://www.tosanshin.org/>

事務局より

- 本会は、東京都の産業教育をさらに飛躍させるために活動するとともに、情報等をお知らせしています。会員の皆様のご協力をお願いいたします。
○今年度から、会誌の発行は、年2回となりました。次号は、11月下旬に発行いたします。

発行 東京都産業教育振興会
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
東京都教育庁都立学校教育部
高等学校教育課内
電話 03-5320-6729
FAX 03-5388-1727
印刷 株式会社小葉印刷所

再生紙を使用しています